



御嵩建築

雨楽の家
URAC MODERN

casa carina



御嵩モデルハウス



木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.57

今回のテーマ
現場レポート
御嵩モデルを活用してみませんか？

現場レポート

◎御嵩町 U様邸 新築工事

- ・土台を伏せています。床の断熱材を詰めています。
- ・上棟式。しあわせをカタチにする仕事をしています。
- ・瓦葺き工事。暑いですね。瓦屋さん、小まめな水分補給を！
瓦が葺き上がりました。キレイですね(^^)



◎瑞浪市 M様邸 建替え工事

- ・地鎮祭。とこ鎮めの儀
工事の安全とご家族の繁栄をお祈りいたします。
- ・基礎工事。鉄筋を組んでいます。
- ・建前に備えて、土台を伏せます。
- ・上棟式。建前に雨が降ると、福が降り込むとって、
とても縁起が良いとされます。



◎可児市 A様邸 新築工事

- ・地盤調査



◎御嵩町 分譲地

- ・いい場所ですよ。
可児郡御嵩町中960 1区画 76.69坪

◎御嵩町 Y様邸 新築工事

- ・完成見学会。ありがとうございます。



【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

御嵩モデルハウスを活用してみませんか？

御嵩モデルハウスを宿泊や会議などいろいろなことに使ってみませんか？

例えば・・・

- ① 宿泊体験(原則一泊)。キッチンを使って料理も作れますよ。
- ② 料理教室などの趣味やサークル活動。
- ③ 会議 など・・・ 使い方はいろいろ。

モデルハウスにあるキッチン用品・テレビ・お布団などの備品は全て使用可能！
御嵩モデルハウスをぜひ体感してみてください。

宿泊につきましては、1回5,000円をお願いします。(電気・水道代、リネン代 等)
詳細は御嵩建築までお問合せください。(内容によってはお断りすることがあります。)

☆ 電話 : (0574)67-4787

☆ メール : info@mitake-kenchiku.com



車に乗る時、雨に濡れない裏技

大きな目玉クリップの首のところに輪ゴムをグリグリ巻いておきます。

そのクリップを傘の柄に挟みます。

開けたドアに引っ掛ける様にして、傘の方は車の屋根の上に置きます。

傘は三点で支えられていて意外としっかり支えています。

ゴムは滑り止めとドアを傷つけないために巻いたのです。子供を乗せる時大変便利です。



雨の日の「泥はね」は、歩き方を工夫すれば防げる

雨が降ると、泥で足元が汚れるのが気になったりしませんか？ この質問に「YES」と答えたあなたは、もしかしたら歩き方がマズいのかもかもしれません……。そこで、雨の日の泥はねを防ぐための歩き方についてご紹介いたします。

■泥がはねやすい人の特徴とは

「雨の日に外を歩くと、いつも足元が汚れる」という人は、歩き方に特徴があることが多いと言います。がに股歩きの人やO脚の人は爪先が外に向く歩き方になるため、片方の足を上げたときに反対側の足元に泥がはねて、汚れがつきやすくなるのです。

また、普段から歩き方に気をつけている人も、雨の日は要注意。美しく見える「モデル歩き」も、足裏の着地がまっすぐではないため、泥が跳ねやすいのです。颯爽と歩く女性は素敵ですが、雨の日にはストッキングやパンツがとんでもない状態になっているかも……。

■どんな歩き方をすればいい？

泥はねを避けるためには、爪先の向きと着地の仕方に細心の注意を払う必要があります。必ず足首から爪先までをまっすぐにして、足裏が地面を均等に踏むように歩きましょう。ちょっと不格好になってしまいますが、左右の足跡が2本の直線になるようにして、かつ足裏に体重が均等にかかるように歩けば、服や靴が汚れずにすみます。

また、意識を向けるのは、足元だけではなくありません。腹筋を使って上半身を引き上げ、着地の瞬間にかかとにかかる衝撃を緩和させるようにするのも、泥はねを防ぐ大事なポイントの1つです。

■選ぶ「靴」も重要

歩き方だけでなく、どんな「靴」を履くかも重要です。きちんと足にフィットしていない靴だと、地面を蹴るときに靴がぶれて動くので、泥が飛びやすくなります。また、デザイン重視のパンプスなども、雨の日には不向き。

ヒールがあると着地時に体重が均等にかからず、泥はねが付きやすい歩き方になるからです。

雨の日には、靴底もしっかり足にフィットさせられる、凹凸の少ない靴がオススメ。ただし、その条件が揃ったスニーカーでも、横溝があるとそこに水が溜まりやすいので危険です。ベストなのは、縦溝模様の靴。それなら水は縦溝に沿って下に流れるので、泥が跳ね飛ぶ量は少なくなります。

たださえテンションが下がりやすい雨の日に、服や靴が汚れると、余計に落ち込んでしまうもの。無駄な泥はねを防ぐために、歩き方と靴選びには十分気をつけましょうね。